

町長・町議の同日選挙 について

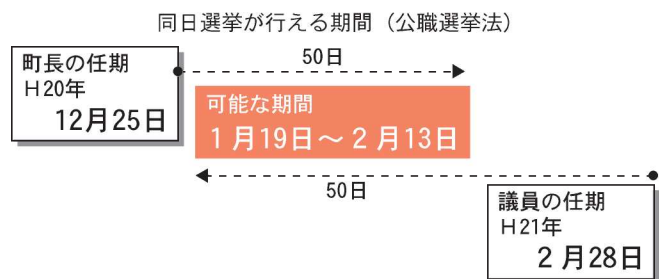
町長／公選法では可能



永田 和彦議員

町政を問う

一般質問
10議員



町長選挙の満期と議員の満期はさほど離れていない。前回の選挙のときにも噂された同日選挙を特例を使えばできるのではないか。このことについて町長が判断を下す立場にないが、同日選挙と

することでもかなりの経費削減が見込まれる。また公職選挙法でも選挙経費の節約と事務手続きの簡素化が強くうたわれている。

選挙1回の予算は約1300万円ほど組まれており、2回すれば2600万円になる。同日選挙に持ち込めば少なくとも1000万円ほどの経費削減になる。また町民にとっても同日選挙ということで非常にわかりやすい。町長が姿勢を表明することにより、ことが前進すると思ひ質問する。

家入町長

公職選挙法によれば議員の任期満了と町長の任期満了日が90日以内にある場合における特例制度がある。同時選挙であれ

20年度施政方針について

町長／農家の経営安定や行財政評価すすめる

ば町長不在が1カ月半近くあるが、行事については職務代理者が執行していくし、一度やればあとは同時選挙が続く。町民の皆さんが望む形であれば、そういう方向に思う。



農業の後継者は育つか？

大津町の農業ビジョンとしては、担い手の育成と農業所得の向上が重要課題と考える。農地を整備することで水路の崩壊防止や農地の冠水、用水の確保、作業の効率化や

家入町長

町民の目線に立ち、厳しい経済状況を意識したものであったか。農業政策では村づくり交付金事業を活用し農地の基盤整備に力を入れ経営効率を高めることが一番といわれるが、農家は非常に厳しい状況に立たされている。農業は大切ではあるけれども後継者がいない、品質では負けないが価格競争で中国や諸外国に負けてしまう、見た目が変わらぬ野菜などは消費者は経済性を重

視し産地より安い方を買う。

農業の現状を認識し農家の所得を上げる適切な政策とは思えない。

財政改革も非常に甘い。無駄を省くなどは当たり前のことであり、経費削減というのは民間企業でも行政でも当たり前の恒久課題である。問題は依然として指名競争入札と随意契約がはびこっている部分だ。これは町民にとって大きなデメリットである。

農地保全、車両の円滑な運行などの環境整備を図っていく。このような意味において村づくり交付金事業を活用していきたい。また関係機関と十分連携を取りながら生産農家の経営安定に努めていきたい。

財政計画関係等については、行政評価関係等をしては、例えば補助金の見直し関連等について十分な検討をすすめる。



新開 則明議員

農業委員会の必置規制の 堅持と営農指導を問う

町長／農業委員会はなくてはならない

国は地方自治体が地域の
実情に応じて農業委員
会の設置を任意に決定で
きるように進めているが、
町として必置は大切では
ないか、農業委員会に期

待される今後の取り組み
は、どのような事か。集
落営農組合と他の農産物
生産グループの営農指導
は今後どのように進めて
いくのか。



農業委員会現地研修

大塚産業振興課長

県の農業指導関係も行
い事業を行うグループに
も、それぞれ場合にに応じ
補助金を出している。

農業委員会は、なくて
はならないものと思っ
ている。今後、地域農業の
助言者であり、リーダー
として頑張っていただ
き。営農指導関連は、
今後十分状況を判断し、
今、やるべきものをしつ
かりと方向を決めていく。

家入町長

食の安全に対し住民の
関心が高まっているが、
分かりやすい情報の提供
に努めるべきではないか。
生産者と消費者の懇話会
等を受け、安全策の向上
に取り組む考えはないか。
学校給食における地産地
消と安全対策はどう進め
られているのか。

宮崎教育長

学校給食に使用してい
る農産物は25品目で、そ
の内14品目は大津産であ

食の安全対策を問う

町長／協議会などと連携して推進
する

町の特産品と つつじについて問う

町長／開発関係等に
支援していく

家入町長

食の安全については、
地産地消研究会を推進し
協議会などと連携を十分
推進しながらやっていく。

家入町長

開発関係等には十分支
援していく。資料館の形
で文化・造花の資料を展
示し町内外に情報提供し

特産品の開発や研究を
支援する場合は考えられ
ないか。企業とも連携し
互的な情報を図るべきで

はないか。つつじ園をア
ピールし、イベントの企
画を充実して町の活性化
を図るべきではないか。

ていきたい。つつじロー

ドも考えて町の歴史のあ
る淀川系のつつじを検討
したい。案内板も目立つ
場所を選びたい。



つつじは町を代表する町花



食の安全で自給自足の菜園

54兆円もの道路特定財源 ムダを改め、くらしのために

町長／現制度の維持を望む



荒木 俊彦議員

ガソリン価格に占める税金／ℓ		
ガソリン税	本則税率分	28.7円
	暫定上乗せ分	25.1円
石油石炭税		2.04円
消費税		7.4円
原価＋経費		91.76円
合計・ガソリン価格1リットル		155円

道路財源を食い物に	
道路財源から収入を得ている50公益法人のうち25法人で国交省天下りOBが独占	
理事長の年報酬	1700万円～2105万円

道路特定財源は、毎年5兆4千億円、うち約半分2兆6千億円が暫定上乗せ分。人口比で按分すると、大津町民は13億5

000万円納めている。大津町の道路特定財源とそのうち暫定上乗せ分はいくらか。

10年間で54兆円の莫大な財源の大半は高速道路建設費。その工事を請け負う大手ゼネコン、官僚の天下り、政治献金を受け取る政治家、まさに政治家がよってたかつて我々の税金を食い物にしている。

家入町長

特定財源の暫定上乗せ分がなくなると町内における道路改良等の予算関係に影響する。福祉や社会保障関係に回せばとの話もあるが、今のところは、現制度を維持しながら、将来的には仕方ないという思いはある。

黒田企画政策課長

町の歳入のうち道路特定財源は2億2600万円、うち暫定上乗せ分が1億500万円である。

介護労働者の 処遇改善を

町長／雇用条件改善をすすめる

介護で働くヘルパーさんなどが低賃金、重労働で、事業所も介護報酬が安くて経営が大変。東京千代田区では、補助金を

家入町長

ヘルパー関係職員のな

介護で働くヘルパーさんなどが低賃金、重労働で、事業所も介護報酬が安くて経営が大変。東京千代田区では、補助金を

り手が少ないのは確かで、賃金や労働条件など杜協

県道、西鶴中井迫線がバイパスから藤本タイヤまで工事が進んでいるが、子どもの逃げ場がない状況であり非常に危険。

家入町長

大津小学校のスクール

ゾーンの安全性についてはご指摘のとおりで即改善をやりたい。他の小学校も危険箇所等もPTA、教育委員会とともに道路関係担当課も交えて対策をはかる。

大津小周辺の 通学路の安全を

町長／全校の通学路の安全対策をはかる



県道工事中の大津小通学路

職員の処遇について改善検討をさせる。

松永健康福祉課長

介護保険の家事援助単価の見直し。また保険外の生活管理型のヘルパー派遣15000円（90分未満）を22000円に引き上げたい。雇用期間を3年ぐらいに延ばすこと、ボーナス支給や通勤手当などの改善を進めたい。



月尾純一郎議員

大津街道（清正公道）に桜の並木を

町長／歴史を生かしたまちづくりを検討する

家入町長

清正公道は、桜山の地名があるように、五里木坂から下は、街中を眺める山桜の波が大変きれいな

大津町は歴史的に宿場町として栄え、今またビジネスホテルが林立するなど平成の宿場町としての様相を呈してきた。加藤清正が歩いた大津街道、いわゆる清正公道。今、子ども達や多くの人達が昔の心を体感しようと歩いている。この道筋に桜の木を植え、桜の街道をつくる考えはないか。



桜満開の清正公道

であつたと歴史の記録に残っている。鶴口から五里木坂までの区間の両サイドには緑の竹林があり秋の紅葉の映えるのが印象深く心に残っていると高齢の方の話も聞く。地域づくり支援事業の中で、地域の人たちにまず一歩から作って頂き、ボランティア団体の皆さんや地権者のご協力を得ながら、歴史を生かしたまちづくり、まち興しを十分検証していく。財政的なものも検討しながら大きな目標に向かって歩んでいく。



町のオアシス昭和園

昭和園をもっと 使いやすい公園に 町長／安全性に重きを持った公園 にしていく

昭和園が大変危険であり、使いにくいとの声がある。つつじが大きなりすぎて死角となり、子どもを安心して遊ばせられないと言う。昭和園は発展する大津町の中核公園としての使命があると思う。町民の声を取り入

昭和園は都市公園として造ったもの。お母さん方や地域の皆さんの声をよく聞いて、笑い声の聞こえるような公園にしていきたい。子ども達の目線に立った安全性に重きを持った公園にするため、今まで手を付けていなかった部分も再度見直し、特長のある公園を作っていきたい。

家入町長

れ、使いやすい平成の公園を目指すべきではないか。

段ボール箱で 生ごみの堆肥化を

町長／ごみの処分量を減らす取り組みを検討する

家庭から出され処理場へ持ち込まれる燃えるごみのうち約6割が生ごみと言われている。多く出るほど収集や焼却に費用がかかり、大津町の負担も大きくなる。21世紀は環境の世紀。これまで廃棄されていたものを再利用、再利用し、大切な資源を循環させ環境に優しい社会を創り上げていくことが大事だと思う。段ボール箱を使った生ごみ堆肥化に取り組んでいく考えはないか。

段ボールでの生ごみの堆肥化については、テレビでも見、他町の取り組みも勉強している。処分量を減らすことを頭に置いて取り組みと思う。大津町でも、再度各種団体等に説明をしていき、その中で段ボール箱を利用したごみ処理も十分検討していきたい。手軽にできるようなことへの支援をしっかりとやっていきたい。

家入町長

美しい森づくり運動を

町長／長期展望に立った総合的な展開を図る



石原 大成議員

大津町は、阿蘇外輪山から広がる広大な森林や豊かな傾斜地をしている畑地帯、白川両岸の水田地帯、そして豊後街道やJR豊肥線などの交通の要衝として市街地が成り立っている。又、歴史的遺産も多く、住民が長い年月をかけて創り上げてきた町でもある。ところが近代化や人口増などの都市化が進み、藪が繁茂する空地や、放置竹林の急増などかつての大津町の美しい光景を見ることができなくなっている。大津町は、人と自然が

共に生きる町を目指し、自然環境と調和するまちづくりや光景づくりに向けた姿勢を示している。とりわけ面積の大きさや影響の大きさを考えれば、山林の取り扱いに対する町の姿勢が最も重要であると思う。

森林の持つ多面的機能は重要であり、特に緑のダムと言われるように、洪水を防止し、地下水を生み出すなど、その能力には優れたものがある。しかし、その能力を引き出すためには、森林の間伐などの手入れが必要であり、荒れたままでは、その機能を十分に発揮することができない。そのためには、人工林の手入れ、伐採後に広葉樹の植樹などの施策が必要である。大津町にマッチした多様で感動を与える美し

い森林づくりは、多くの人々の参加と長い年月を要する。一瞬にできあがるものではない。そのため、力強い運動が求められる。町発展のためにも美しい森づくり運動を町が率先して展開すべきであると考えている。

家入町長

大津町の約半分の面積が森林であり大津町の宝であると思っている。この町有林や民有林等の森林は、それぞれに地球温暖化の原因となる二酸化炭素を吸収したり、あるいは災害の防止や、熊本都市圏の恵みの水を確保するなど素晴らしい役割を担っている。大津町の振興総合計画では、林業の振興と生産基盤の整備そして森林の持つ多様な環境保全と活用を2本の柱として挙げている。具体的には適切な施策計画に基づき間伐を実施し枝打ちや下刈り、除伐などの維持保全活動を実施している。民有林の整備については、国・県の補助を活用しながら計画を円

滑に進めるために山林の現状の確認を行う事業などを森林組合と連携して推進している。生産基盤の整備については、林道や作業道の適正な維持管理を行っている。県・町・森林所有者や森林組合などと連携を密にして森林施業の共同化や林業後継者の育成、あるいは機械化の促進や木材流通加工体制の整備など、長期展望に立った林業政策

の総合的な展開を図っている。

大津町では、「環境の森」や俵山の広葉樹の森などで、各企業団体と環境保全協定を結び、植樹や下刈りなどが行われている。かけがえない森林環境を次世代に引き継ぐための活動としては、森林組合や大津林研グループなどにより子ども達や多くの方々に森林の持つ機能を学習する講座

や自然とのふれあい体験も行っている。また、「NPO法人里山まもり隊・どんかつちよ」など、水源の涵養や緑を次世代に継承していく活動を通して、自然との共生や子どもたちが地球環境に関心を持ち、命を大切にすることを育む地域づくり、人づくりを目指した活動をする団体もある。



町有林間伐作業

行政改革を問う

町長／行革大綱を推進

地方分権の時代を迎え、三位一体の改革の中で必然的要素として徹底的行政の無駄を省き、さらなる行政サービスの向上を目指す施策を述べられているが、本町の既存の組織を見直し簡素で効率的な行政を実現することが地方行政の重要課題であることから、行政改革のために鋭意、検討されてきたと思いますので、基本的姿勢を伺いたい。

①組織機構の簡素合理化を図る趣旨について。
②人事合理化として財政硬直化の原因の一つに人件費の徹底的な見直し、長期的な定員削減計画を立て、当分退職者補充を控える考えは。
③既存の事務体系を見直し、行政をどうやるべきか、補助金の有効に活用されているのか、これを整理し統廃合は考えられないのか。
④行政運営の効率化と住民サービスの向上を図るための投資的経費を削減のため、財政構造の仕組みを変える観点から、今後、どのように民間委託を促されるのか。

家入町長

①組織機構の簡素化や合理的効率化につきましては、住民の視点から見て分かりやすいものであること、住民と連携した行政サービスの提供を可能とする組織であること。



部制になって

今後でも行政改革の取り組みとあわせて適切な行政運営が可能な組織作りを進める。

②今後の人口の増加や地方分権などに伴う業務量の増加も考えている。今後の適正化の取り組みに当たっては退職者補充の抑制を図ることは勿論、年齢構造等も考慮したうえで民間委託の推進や職員の人材育成等の取り組みも連動しながら住民サービスや行政運営に支障のない適切な定員管理を図る。

③補助金は町民との協働によるまちづくりになさわしい施策遂行手段でなくてはならない。今後は単なる一律の削減を目指す見直しではなく目的、効果、仕組みなどが今の時代に適合しているかどうかを十分に検証する。

④民間委託については民間の能力を活用しながら住民満足の向上と経費節減の効果を図るという集中改革プランの方針に従い、民間に出来ることは民間にを原則とした住民共同経営の視点に立つて進める。

大型住宅団地の育成促進

町長／民間活用に向けて支援する

美咲野は開発許可時に町とＪＲで小学校用地として約３ha、造成の基本協定がなされている経緯があり、相互協定のもと

に造成された用地が遊休地として放置されている現状を見て、行政支援のもとに公的、商的施設の誘致促進を図ることが急務不可欠と思うが、このことについての所見を聞く。

家入町長

行政として支援ということにつきましては、今後、ＪＲとの検討の中で用途地域の見直しなどについての部分的協力はあるが、今のところ公共施設関係等の建設予定はなく、今後についても民間活用で進めていた



建設中の緑ヶ丘保育園



鈴木ムツヨ議員

教育行政を問う

教育長／さらなる情報公開を

①図書館運営について
蔵書数は約11万冊、貸出しは約24万冊、1人当たり約8冊。月1回のブックスタート、移動図書館
未来号で20ヶ所巡回。
愛される図書館になっ

ているが親子で行くと靴音が響き話し声がとても気に掛かる。子どもコーナーにカーペットを敷いてほしいのと、低くBGMを流して欲しい。文化の拠点として、教育委員会の後援がある物は有料でもチラシを置いて見やすくして欲しい。

②教育委員会の情報公開日程を公表し傍聴しやすくするべき。教育長及び教育委員との対話の設定が必要では。教育長は教育委員会が本来の機能を発揮するためどのような点を考慮されているか。

宮崎教育長

教育委員会は合議制で町の教育の基本方針の策定や委員会の制定・改廃、教育機関の設置や廃止、職員の人事等を管理、執行。地方教育行政の組織及び運営に関する法律が来年度4月施行されるのでさらなる情報公開に向けて検討。BGMはアンケートを取る。対話の日は考えていない。チラシの件は図書館協議会等とも協議し検討する。

寄付条例の設定を

町長／「町おこし大学」で検討

国の三位一体改革により地方は自主自立の財政運営が課せられている。幸い大津町は4年連続で不交付団体として予算計上。しかし今後の財政見通しの不安定要素は増している。新たな財源の1つとして寄付条例の新設を考えられないか。

寄付を通して行政運営に参加し、財政的に応援し町の活性化に寄与する。

家入町長

4年連続の不交付団体という元気な大津町だが、今アメリカの影響で日本の円高や株安で企業にも相当影響が出るのは確かである。大津町の宿場町の心、思いやりの心を生かした行政をやることで住民の温かい心につながるのでは。「町おこし大学」の中で検討。



図書館での読み聞かせ

女性管理職を30%に

町長／全部が女性でも結構



審議中の男女共同参画社会推進懇話会

家入町政2回目の組織機構改革で大津町で初めて部長制がしかれる。女性職員は全体の3分の1を占めている。管理職を30%にできないか。

家入町長

女性の登用は30%でなくとも全部が女性でも結構だという思いをしている。男女の区別なく採用

し配置も行っている。県の職員研修に女性を今回派遣。しっかり頑張つて貰い期待している。

その他の質問

大津地区公民館分館をコミュニティセンターに

この区間に8億円も使うのか 駅前楽善線

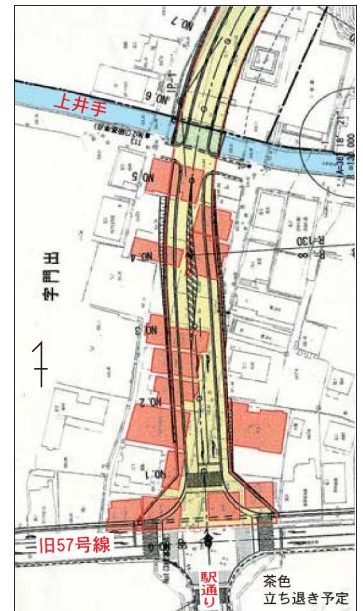
町長／費用対効果はあると思う



坂本 典光議員

駅前楽善線工事予定の中で、上井手と旧57号線の間の道路拡張工事は両側に家屋が密集している。
(1) 立ち退きは何軒か。
(2) 立ち退き費用を含めて、この間の工事費はいくらか。
(3) 費用対効果から見て問題ないと思うか。

都市計画道路・駅前楽善線計画図



家入町長・中山課長
(1) 上井手と旧57号線の駅前楽善線の改良に伴う立ち退き軒数は14軒、交差点改良に伴う立ち退きが6軒、合計20軒である。
(2) 立ち退き費用はまだ建物の鑑定をしてないので明確ではないが、立ち退き費用、用地買収それから建物の移転補償等も含めて、当該区間の事業費は約8億円を見込んでいます。
(3) 国が定める費用便益分析マニュアルに基づいて考えると、費用対効果はあると思う。



駅通りから上井手方面へ旧57号線の交差点

廃校になった学校の校歌をCDに残そう

教育長／作る方向で検討する

大津町では今まで多くの小・中学校が廃校になった。
当時の校歌を地域の文化としてCDに残すべきである。卒業生も思い出になるだろう。

宮崎教育長

これまでのように楽譜、歌詞だけの保存ではなく、現代にあった保存方法であるCD化をご指摘いただき大変ありがたい。現在は小学校が6校、中学校が2校である。

教育委員会として貴重な歴史、文化資料として平成7年に発行した大津町史研究第7集、郷土史落穂集がある。その中で明治、大正、昭和から平成7年までの14小学校と2中学校、2高等学校の歌詞、そして最近の小学校、中学校、養護学校、

大津高校、産業高校の13の学校の校歌の楽譜と歌詞を掲載している。

校歌は町民の皆さんや卒業生にとって懐かしく楽しい思い出として記憶されていると思う。作る方向で検討する。

その他の質問

道州制について



このような音楽CD



長谷部健一郎議員

地域総合物産館建設は

町長／時期を考え検討する

地産地消の件について検討しているか。現存各施設で農産品の販売がなされていることは喜ばしい事であるが、農産品の安心安全の方法を確立し農産所得の向上に貢献していただきたい。人が行きかう商業集積空間を生かした物産館の建設が必要であると思われる。その中に産品の研究所を併

設して売上向上を目指すべきであるが出来ないか。運営は多少赤字は危惧される。運営の効率化をはかり商業ベースに乗せることは可能ではないか。建設検討委員会をつくってはどうか。農産物の浮揚を真剣に考えていただき、今後の動向をリサーチしていただきたい。

商業集積空間を生かした物産館はできないか
(大津本町商店街)

家入町長

地産地消が一番重要と考える。営農関係について今後も取り組み、支援をどうするか考えなくてはならない。消費者が求める品づくりは厳しい。地産地消の研究会も立ち上げている。

市街地の活性化の中で物産館をつくることは赤字が出る事も考えられる。その時期に考えていない。今後検討する。研究開発については新たな農産物開発も考えている。

大塚産業振興課長

市場調査は必要と思う。農産物の生産と消費者に何が必要か調査に取り組んでいる。加工技術も必要、今冷蔵冷凍施設で調整している。JAの方と一緒に取り組む。

企業塾の設置は

町長／企業と相談し行いたい

大津町には大企業が多く立地している。企業の求めている人づくりには大企業のトップや研究員を講師として若者にわが町の子育て日本一を目指した企業塾を設置してはどうか。企業と若者の距

離が近くなり就業機会が確立できるのではないかと大津町に若者が定着すれば、大津町の宝となることであると考えている。何らかの意識づけを行い、若者の成長を育成していただきたい。

家入町長

企業と連携や雇用拡大のための塾は地元の子供たちに大切だ。大津町独自のものをつくることはよいことであり、その方向でいきたいと思う。塾の課題もあると思う。検討しながら企業の皆さんが素直に気軽に講師になってもらえるような講座も企業の方と相談しながら行いたい。

企業立地に頑張る市町村20選に選ばれた大津町
経済産業大臣から感謝状を受ける家入町長



藤森昭二朗議員

学びの校庭に 自然環境の校庭づくりを

教育長／環境整備に力を入れる

校庭を見回してみると隅々が有効に生かされていない所がある。自然環境と共存できる植木や四季折々の花、実のなる木等の配置された校庭。学

力向上に人間形成での視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚などの五感づくりの自然体験のできる校庭づくりをすすめてはどうか。

宮崎教育長

学校は、四季折々の花が咲き、やすらぎの森は必要で、自然の鳥や昆虫が見られるようなそんな、自然体験が出来る環境づくり、これは大切なことだと私も思う。教育の面から考えてみても、花や草木を育てるために種まき、苗植え、や肥料やり水やり、そういうことをする中で、勤労生産的な学習や自然を愛する畏敬の念・美しいものに感動する心など豊かな心を育み教育的効果も大きいものではないか。学校の中庭や校庭の隅など利用し安全面等も十分考慮しながら、各学校とも協議し一緒に環境の整備していくことに力を入れていきたい。



大津北中学校玄関前

流れる川の水力で 用水路発電を

町長／前向きに検討

大津町には水の恵みがある。大昔より流れている白川、上流の畑堰からの用水路に始まり、上井手・下井手を流れて南部地域の田を潤し、北部地域では、矢護川がある。

年中流れている。水の力を利用してミニ発電を行い、地域づくりを目指し、売電し、CO₂を少なくするため、地球環境を守るためにも進めてもらいたい。

家入町長

ミニ水車の件につきましては、長野県の須坂市において、信州大学の池田先生による、小型水車の小型発電を農作業の閑係に利用されている。水力発電は2メートルの落差で、水路の幅は50センチぐらいでもいいということ。費用設置が500万円以下で最大で70ワットの電力を出すというような話も聞いている。うまく利用すれば、街中の

街灯はうまく光り輝くんじゃないかなあと思う。栃木の方でもできているようなので、検討する価値があると思う。

大津町の中心市街地だけでなく、白川、矢護川等の水をうまく利用して、その地域で何が出来るか大津町にしかできないという自然エネルギーを利用したものを活用していく我々の知恵が必要だと思う。



三連水車